

部会活動の様子

それぞれ特色のある部会が行ってきた活動の一部をご紹介します

誰でも参加できるまちづくりを目指して シモキタリング まちづくり会議

「誰でも参加できるまちづくり」を目指して活動してきた「北沢PR戦略会議」が
「シモキタリング まちづくり会議」と名称変更しました。

街で活動するひと、暮らしているひと、働いているひと、遊びに来たひと、誰もがまちづくりに関われるシモキタ。
いろんな想いを集めいろいろな色を持った活動が、生き生きとしたシモキタをつくっていく。
そんなイメージを「シモキタリング」にこめました。ぜひ、あなたも一緒に。



かわら版 第10号

発行
令和6(2024)年3月
世田谷区シモキタリング課

新公共空間再考部会
シモキタの建立事業の歴史と裁判和解を踏まえ、事業の検証をしつづけ「緑と防災の基盤」、「歩いて楽しめる街」「文化の街」の観点から新たな公共空間の実現をめざします。

リ・サークル部会
見逃されがちな着崩点から、まちづくりに必要なデータを集め、街の現況を調べたり、提案を行っています。

健幸会
毎朝のジオラマ操を通して、健康が自分の幸せになり、その延長上にある幸福なまちの姿を考えて活動しています。

まち運営調整部
住民・商業者・鉄道事業者・世田谷区・警察・消防などとまちづくり情報を共有し、まちの運営について、検討・提言する会議体をめざしています。

シモキタ園芸部
まちの植物を地域の共有資源とみなし、丁寧に手を入れ守り育ながら、緑と人が関わる、シモキタの新しい園芸文化をつくしていくことをめざしています。

駅広部会
下北沢駅前に新しくつくられる空間のあり方や運営方法を考え、様々な団体をつなげるアクションを起こしています。

案内部会
「まちの案内所」と「街歩きイベント」の活動を行っています。

**だれにも安心でやさしい
ユニバーサルデザイン部会**
この街で暮らしている人、働く人、いろいろな背景のある人、外国人の人、こどもからお年寄りまで、すべての人へのバリアフリーを大切にしたまちづくりをめざしています。

まちピアノプロジェクト
誰でも弾ける、まちピアノで新しいコミュニケーションの場と時を創出しようとしているプロジェクトです。

ボランティアによる『下北沢まちの案内所』
下北沢駅前案内人による音楽ライブ

ごみの現状を調査『リ・サークル部会』

1 まちの魅力発見を試みた情報部会の『シモキタんけんたい』

2 まちに緑を『SHIMOKITA 解放区 PROJECT』

3 マーケットの思い出を振り返る『さよならマーケットありがとうマーケット』



活動メンバーからの声

シモキタリングや部会活動の良いところ
やっていきたいこと
期待すること

ユニバーサルデザインや、インクルージョン、社会モデルについての勉強会 ● 多世代活動の共存が良い ● 下北沢の歴史を学ぶ小学生でもわかるセミナー ● 色々な世代が参加できるお料理教室 ● 今後起り得る課題について引き続き取り組んでいきたい ● 地元と連携した活動をしているのが良い ● 一過性ではなく、継続したい ● 素晴らしい皆さんのが参加されているので、ぜひ一緒に何かを生み出していきたいです! ● 引き続き会を続させていきたい ● 住民の声を丁寧に吸い上げ、10年後、50年後に下北沢を最善の町にできるよう活動を続けてほしい ● 綺麗な町になるような活動を増やしていきたい ● かっこよくて包容量のある温かい街を目指したいですね ● 積極的に既存の地元団体と活動できるような取り組みをしてほしい ● オープンで参加しやすいことが継続されればいい ● 地元の意見だけではなく、幅広い方々の意見を拾い上げる場の提供をしてほしい

ユニバーサルデザインの現状を点検する「たれにも安心でやさしいユニバーサルデザイン部会」のまち歩き

情報発信や自由が丘の取組みなどをテーマにした『世話人勉強会』

「かわら版第10号」を迎えて
街が大きく変化する中で、シモキタをもっとよきたいと、様々な活動が誕生して8年を数えます。
かわら版第10号の節目に、これまでの街づくりの経過や活動の足跡を振り返ってみました。
これからもみなさんと一緒に活動を充実していくことで、シモキタの魅力がさらに發揮されることを願ってやみません。

誰でも参加できる『いどばた会議』

まちづくりは健康づくりから『健幸会』

下北沢の街を対象にした学生の研究発表の場『学生懇談会』

発行:世田谷区 北沢総合支所 街づくり課
住所:世田谷区北沢2-8-18 電話:03-5478-8073 フaxシミ:03-5478-8019
詳細は 世田谷区 シモキタリング 検索

下北沢のまちづくりの系譜

北沢PR戦略会議（シモキタリング まちづくり会議）がスタートした背景と、まちづくり活動の経緯

下北沢駅周辺では、1960年から2000年代にかけて検討・決定されてきた都市計画に対して、シモキタ文化を守ることを目的に2000年代初頭から様々な反対運動が展開されました。一方で防災性の向上や街の利便性、土地の有効利用を求める声も多く、大きな論争となりました。

その後、東日本大震災を契機として小田急線の上部を利用した施設配置計画が見直され、区民・事業者・行政等が一緒に街づくりを考えるラウンドテーブルとして、改め活動を継続しています。

1964～2000年代
● 東京都市計画都市高速鉄道9号線（綾瀬～喜多見間）
● 下北沢街づくり懇談会設立
● 下北沢グランドデザイン
● 連続立体交差事業都市計画決定
● 下北沢駅周辺地区地区計画決定
● 補助54号線・世田谷10号線認可

2014年に第1回北沢デザイン会議が行われました。また、区が計画する施設では様々なワークショップが行われ、区民から多くの意見が集まりました。

北沢PR戦略会議は、これらの経緯を背景として、2016年に地域の方が上部利用施設及びその周辺の「まちの魅力」を高める活動を実践し、区は活動を支援する形でスタートし、現在はシモキタリング まちづくり会議に名称を改め活動を継続しています。

◆

2016
誰もが参加できる
まちづくりの実践の場の誕生!

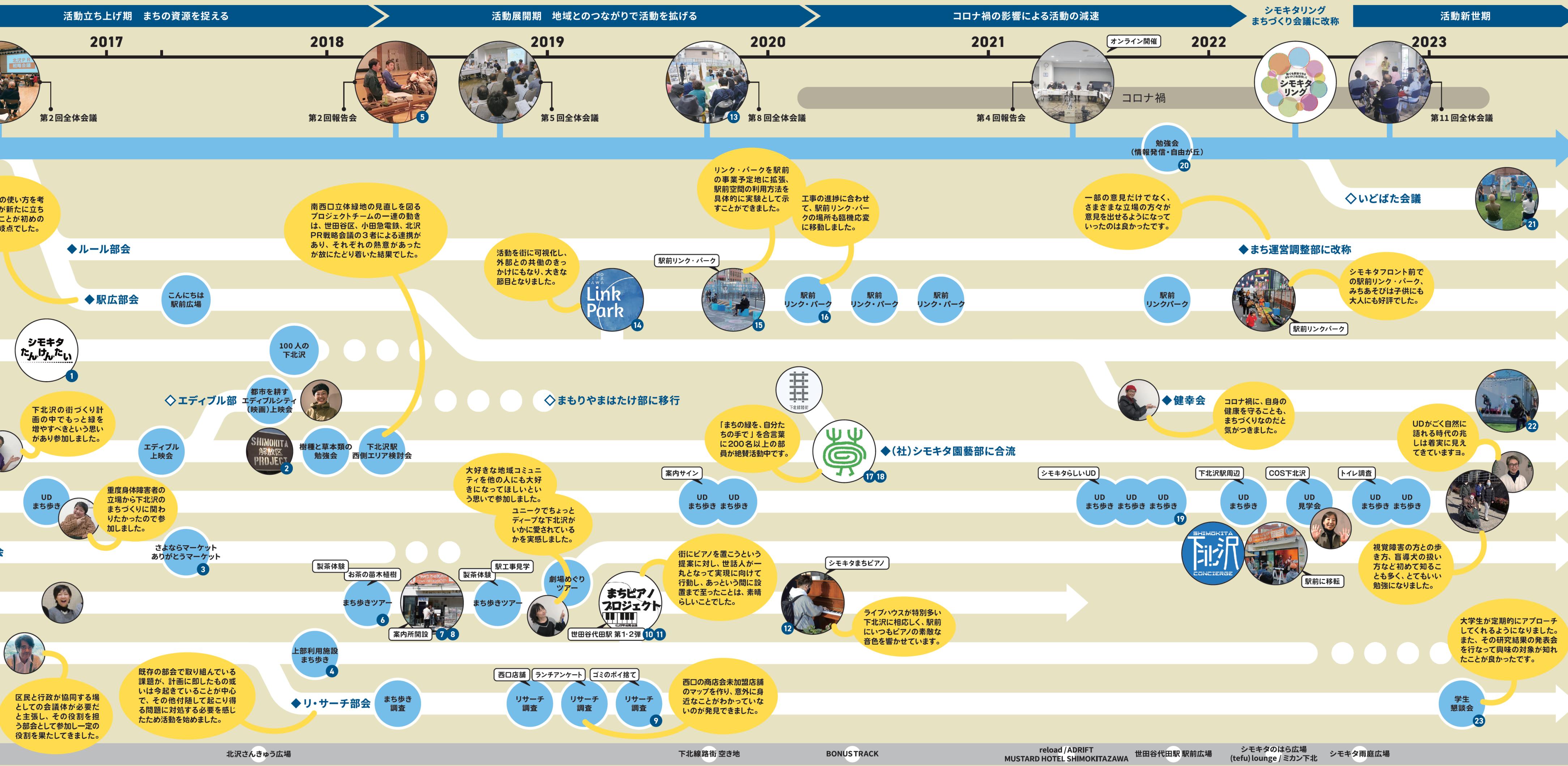
2000～2010年頃
都市計画に対して
出されるいろいろな意見

自らまちの魅力を伝えたい方、求めます
北沢PR戦略会議



北沢PR戦略会議 第1回全体会議
ただいまより「誰でも参加できるラウンドテーブル」を開催します

2010～2016年頃
東日本大震災を契機とした上部利用施設の見直し
せっかく整備するなら良いものにしていきたい
シモキタらしいデザインにして欲しい
建物は建てず、緑地として確保して欲しい
いろんな立場の人、若い人にも意見を聞いて欲しい
使いやすい公園にしていきたい



* UD部会: だれにも安心でやさしいユニバーサルデザイン部会